

DL48

NEWS
LETTER

2021年10月23日
No. 212

MLA48 プロジェクト

135 Members
110(JA), 25(DX)

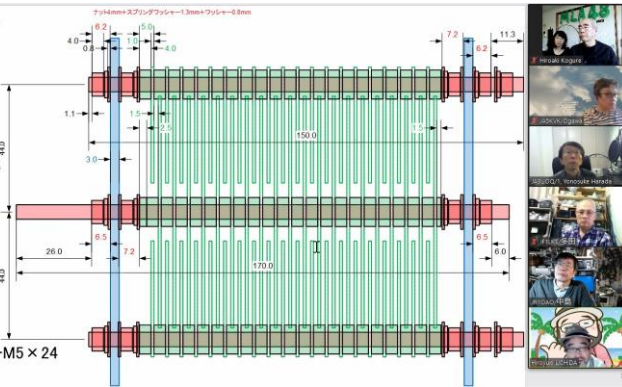


10月度合同ミーティング(MLA48 通算第169回)

10月23日(土), [MLA48プロジェクト](#)と[JHIYMC 横浜みどりクラブ](#)の合同オンラインミーティングを開催。 [JG1CCL内田さん](#)から「バタフライパリコン プロジェクトの進捗」で、[BX6ABCヘンリーさん](#)

バタフライ パリコン

- ローター×20
- ステーター×40
- スペーサーM5アルミ
4.0mm×100
- 2.5mm×1
- 1.5mm×1
- 全ネジM5ユニクロ
150mm×4
- 170mm×1
- ナットM5×24
- ワッシャーM5×34
- スプリングワッシャーM5×24
- フレームt3mm×2



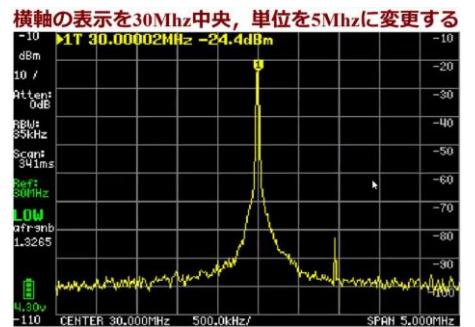
が金型を製作して量産された羽を使ったキット頒布の構想が発表されました。

「第99回アンテナ製作プロジェクト」のプチ講演第7回は「[Super Rad Antenna](#)動作の仕組みと正しい理解」。 [JG1UNE 小暮](#)が3月からさまざまなアンテナを解説してきました。最終回はCQ ham radio誌 [2012年4月号の短期集中連載第4回「λ/100アンテナは夢か」](#)で取り上げ、「2ちゃんねる(当時)」で炎上していたというアンテナです。発明者は先のIsotron, EH,

MicroVertと全く異なる動作理論を主張。「シリンダに発生するリング電流の移動により強く放射」とのこと。電磁界シミュレータ(XFdtd)の結果はシリンダを取り除いても変化がほとんど無く、3種と



同様、同軸ケーブルの外導体外側に流れるコモンモード電流も放射に十分参与しています。 [MicroVert](#)だけは、発明者の[DL7PE Juergen Schaefer氏](#)がその意図を明確に口外しているので軌範です。給電点から約1/4波長の位置に高周波チョークを挿入するという彼のアイデアは[コブリアンテナ](#)などでも使われており、MLAの場合も有効でしょうhi。



[JA3UOQ/1 原田さん](#)は、[TinySAハンドヘルド・スペクトラムアナライザ](#)を購入され、本格的なものと遜色なく使えるとのこと。また、[JA9BQE/1 橋場さん](#)は「バリコンを使わないMLAのチューニング」を発表。

ほぼ中央にサブロープ(直径17cm)を配し、メインロープ(直径35cm)より低い周波数で同調するように固定コンデンサを選び(今回は51PF, 約33MHzに同調)、モーターでメインロープに対し0度から90度まで変化させると共振点が50.0MHzから51.0MHzまで約1MHz変化。 [PAT](#)でのチューニングもデモしていただきました。

[JA5KVK/1 小川さん](#)は早速即興シミュレーション。7MHzでも再現できそうです。

DE JG1UNE

